

スノーシュー体験の前に、古城や宿場町の風情、明治から大正にかけて商都として栄えたころの商家が残る小諸の街を散策しました。

そば処、小諸もシッカリ味わって、小諸駅の前からバスに乗ること約45分、標高2000mの「高峰高原(車坂峠)」に着きました。

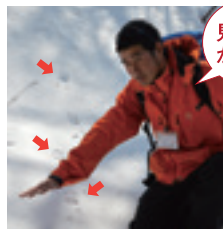
私も同僚も山登りなどしたことのないし、ウインタースポーツとも無縁。不安と期待で鼓動が高ぶる中、ガイドの杉山さんと合流し、車坂峠まで往復の1時間30分ほどのスノーシューブトレッキングのスタートです。車坂山(2050m)は浅間山の外輪山、黒斑山へ至る登山コースにある山です。

杉山さんは「スノーシューとは、西洋かんじきのこと。ふつかふかの雪の上を初心者でも簡単に歩けます」といっけど…。

歩けた！カラマツ林の緩い傾斜の登りも雪の中に足がズボツと埋まることもなく、わずかに沈み込む感じでした。ギョッギョと

雪を踏む音を聞きながら自由自在に歩く心地良さは、最高です。カモシカの足跡やうさぎの力じた枝を発見しては感動したり、木々の春への準備である冬芽を観察しながら、ゆつくり頂上へ向かいました。頂上は白いガス模様。でも薄ら小諸の街並、遥か彼方にかすむ八ヶ岳を見渡すことができ、その美しさにうつり。

下りは、雪の斜面をお尻で滑ったりして、自然の中、雪の上で遊ぶ楽しさを満喫しながら、ゆつくり下ってきました。



カモシカの足跡。



うさぎが
カじった枝。



高峰高原で スノーシュートレッキング

雪山の世界ならではの発見や体験、
楽しさを味わえるスノーシューを体験してきました。

取材協力

NPO法人浅間山麓国際自然学校
長野県小諸市高峰高原
高峰高原ビジターセンター内
TEL 0267-23-3124
浅間山麓をフィールドに、四季を通じて
様々な自然体験プログラムを開催。
<http://np0-asama.jp>



カラマツ林の中を歩きます。



車坂山は分水嶺の一つ。頂上に降った雨は、日本海側(信濃川方向)と太平洋側(利根川方向)へ分かれて流れていきます。



スノーシューの付け方を教わります。



萬屋骨董店

明治時代の旧小諸銀行の建物。厚い土壁をつけた総2階の土蔵造りの国登録有形文化財です。



小諸散策 城下町



大和屋紙店

江戸・安政年間創業の和・洋紙を扱っている老舗です。島崎藤村も原稿用紙を買いに来ていたといえます。



そば七

1日限定10食の「石臼手挽きざる」。やや太麺、弾力とコシがあって、香りも味も最高です。地粉100%、自家製粉、純手打ちそばのお店です。



小諸城址懐古園

山本勘助ゆかりの小諸城跡。城下町より低い位置にある珍しい「穴城」です。



富士屋醸造

量り売りもしている信州みそのお店。そばの実を使用した珍しい「そばみそ」、特におすすめです。



小諸城・大手門

華美な装飾をはぶいた実戦的な城門です。国の重要文化財。